



## 平成 19 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 12 月 26 日

上場会社名 **タビオ株式会社**  
(旧会社名 株式会社ダン)

(コード番号：2668 大証第 2 部)

(URL <http://www.tabio.com>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 越智 直正 TEL：(06) 6708—2456  
責任者役職・氏名 取締役財務部長 谷川 繁

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
クラシカ株式会社が新規に設立されたことにより連結の範囲に含めております。

### 2. 平成 19 年 2 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 18 年 11 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 2 月期第 3 四半期	7,925	(25.0)	641	(350.8)	693	(287.8)	324	(300.5)
18 年 2 月期第 3 四半期	6,342	(6.3)	142	(△10.8)	178	(△37.9)	80	(△25.2)
(参考)18 年 2 月期	9,463		453		510		260	

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 2 月期第 3 四半期	48	62	—	—
18 年 2 月期第 3 四半期	12	14	—	—
(参考)18 年 2 月期	37	27	—	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

#### [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

##### ① 当第 3 四半期における業績

当第 3 四半期の靴下業界におきましては、業界各社の海外生産体制が定着し、国内の減産傾向は一段と進行しています。販売面では秋冬のファッション傾向として、服の着丈が全体的に短めになったことから、レギンス（スパッツ）やオーバーニー等の商品を中心とした足元の装いに注目が集まりました。

このような状況の中で当グループは、ファッショントレンドの目まぐるしい変化に対応できる国内工場と生産技術の温存に尽力してきたこと、独自の SCM システムを有効に稼働してきたことにより、店頭の変化に機敏に対応することが出来ました。

加えて、足元を意識したファッションスタイルの浸透により、靴下の見える範囲が広がったことから、品質の高いものが求められ、当グループの高付加価値商品を迫及する物づくりの姿勢がお客様から支持されたことにより、業績は順調に推移しました。

また、より好立地への新規出店やリニューアルを積極的に行い店舗イメージを刷新すると共に、業態・出店場所別に特色を出した商品展開を行ったことも業績好調に結びつきました。

なお当社は、平成 18 年 9 月 1 日から社名を「株式会社ダン」から「タビオ株式会社」に変更し、ブランドの構築と強化を図っております。

利益面では、当連結会計年度から減損会計が適用されることに伴い、不採算直営店の内装・什器等を減損損失として 48 百万円計上した他、商号変更及びブランド構築費用として 53 百万円計上しましたが、売上好調と売上総利益率の改善により、堅調に推移致しました。

以上の結果、当第 3 四半期の売上高は 7,925 百万円（前年同期比 25.0% 増）、営業利益は 641

百万円（前年同期比 350.8%増）、経常利益は 693 百万円（前年同期比 287.8%増）、四半期純利益は 324 百万円（前年同期比 300.5%増）となりました。

② 当グループの業績における季節的変動

当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期(3月～8月)に比べ下半期(9月～2月)に販売される割合が大きくなっております。従いまして上半期の売上高と下半期の売上高の間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年2月期第3四半期	6,734	3,044	40.7	411	58
18年2月期第3四半期	6,229	2,303	37.0	345	51
(参考)18年2月期	5,702	2,485	43.6	371	09

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の総資産は 6,734 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 1,032 百万円増加しております。

これは、売上高の増加や直営店舗の増加に伴い、売掛金、たな卸資産等の流動資産が 878 百万円増加した他、「協同組合靴下屋共栄会」の検査・研究棟完成に伴う建物及び構築物等の有形固定資産が 197 百万円増加したためであります。

○ 添付資料

- ・第3四半期連結貸借対照表
- ・第3四半期連結損益計算書
- ・セグメント情報
- ・仕入及び販売の状況

[参 考]

平成 19 年 2 月期の連結業績予想（平成 18 年 3 月 1 日 ～ 平成 19 年 2 月 28 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円	百万円	百万円
	10,992	905	462

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 69円30銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期の業績は前回発表予想の範囲内で推移しているものと考えており、平成 18 年 10 月 6 日付にて公表致しました通期連結業績予想から変更しておりません。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上